

2. 精神障害者バレーボールを通じた地域交流と社会参加支援

グループ名 埼玉県障害者バレーボール協会精神障害部門

代表者 吉田太郎

①活動の目的

- ・精神障害者バレーボール交流会を開催し、精神障害者の社会参加の機会を拡大する。
- ・精神障害者バレーボールを通じてボランティアの方々に精神障害の普及啓発を図る。
- ・精神障害者バレーボールの競技人口の裾野を広げる。

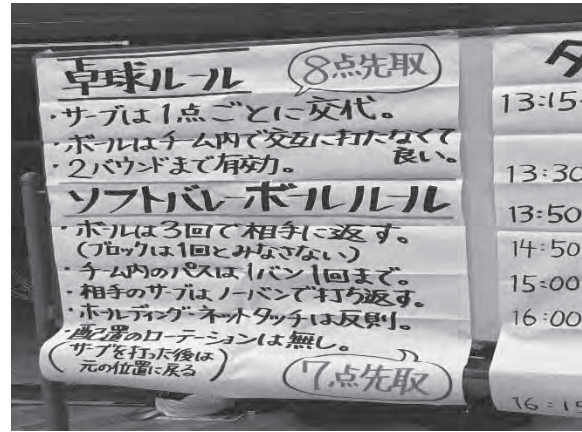
②活動概要

県内の精神障害者バレーボールチームや障害者スポーツ指導員の方々の御協力をいただいで交流会を開催した。ソフトバレーボール&卓球大会では、若年性認知症の方やそのご家族との交流を目的として精神障害者の当事者が審判などの大会運営を行い、多くのボランティアスタッフとの交流が図られた。また、第1回ドリームカップでは、精神障害者当事者自らが企画運営し、バレーボール協会の公式審判員をお招きした試合を行うなど、県内で初めて当事者らによる開催を試みた。当事者らが中心となって運営しているチームも多く集まり、当事者が自ら進んで社会参加の機会拡大を図る事業となった。さいたま市バレーボール教室・交流会では、バレーボール初心者の方に焦点を充てて、県内から広く参加者を募集し、開催した。ボランティアの方々も初めて参加する方からベテランまでご協力いただき、参加した初心者の方々とボランティアの方々が一緒にコートに立って声を掛け合いながらゲームを楽しむことができた。

今後も交流会などを通じてボランティアの輪を広げることや当事者自身による活躍の場を広げ、精神障害者バレーボールの普及を図り、ひいては精神障害者の社会参加の機会拡大と精神障害に対する理解が進んでいくように事業を実施したい。

謝辞：本活動に対しボランティア助成金をいただき、誠にありがとうございました。

実施日	事業名	会場
12月2日(土)	ソフトバレーボール&卓球大会	浦和駒場体育館
12月16日(土)	第1回ドリームカップ	鷲宮体育センター
1月27日(土)	さいたま市障害者バレーボール交流会	記念総合体育館



収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支出	報償費(交通費相当額含む)	8,040円
	郵券	14,572円
	役務費	2,806円
	消耗品(ソフトバレーボール、プリンターインク代など)	64,070円
	会議費(打ち合わせ会議など)	12,685円
	印刷代(コピー代)	640円
	交通費(スタッフ交通費)	11,050円
	合計	113,863円